

ふるさとづくりのテーマと目標

野洲 をまるごとまるかじり

～もっとふやそう、おいしい感動～

ふるさとづくり計画——それは野洲市にある豊富な食材をまるごと掘り起こし、市内の直売店で販売促進することにより、「地域の“もの”を地域でまるかじり」する地産地消の推進がテーマです。直売店の来客数を増やすことにより、地域内自給率のアップと地域内経済循環型社会システムをつくり上げるとともに、移動距離の短縮によるフードマイレージの削減や、エコマネーの機能を持った地域通貨の介在などにより『環境と経済の両立』を図ります。またこれに加え、移動販売やデリバリーサービスを通して、地域福祉に貢献するなど、地域の資源を活用した新たなコミュニティビジネスの創出を目指します。



ネットワークの強化で、地元産業の発展と環境保護を

これからの農業は面白く、大きく伸びる可能性のある産業だと考えています。そのために必要なのは、生産者間のネットワークの強化です。生産者がより多くの情報を収集し、消費者の好みにあう商品を提供すれば、市場が広がり、地元産業の発展につながります。

また、地域の環境を守るためにも、地元産業の育成は欠かせません。農業は酸素を出し、空気をきれいにする産業です。たとえば私が農園を止めるとたちまち山は荒れ、生産の循環がくずれ、土、水、空気といった自然の循環もくずれていきます。地域を守り、環境を守る、それがこれからの私たちのやるべきことだと考えています。



おいで野洲まるかじり協議会会長
南農園経営 南次雄

